

# 半島地域にみる 世界農業遺産の可能性

半島地域では地域特有の資源を活かし、課題解決をはかる多様な活動が行われてきている。こうした取り組みに大学はどのように関わり、役割を発揮していくのか。

## 趣旨

本フォーラムでは、和歌山大学・静岡大学の研究・取り組み事例を持ち寄り、持続的な地域づくりの拠点・プラットフォームの構築にむけた情報共有と連携をはかってきた。これまでの取り組みのなかには、「条件不利地域の課題解決」ではなく、都市圏を含めた他地域にも波及しうるような、先進性や可能性を秘めたものが多く見られている。

そこで6回目となる今回のフォーラムでは、「過去の遺産」ではなく、環境変化に適応し進化し続ける「生きた遺産」として保全・継承することを目的とした「世界農業遺産」に焦点をあてる。2025年度に和歌山県有田・下津地域が石積み階段園みかんシステムとして、世界農業遺産に登録された。全国で17地域が認定されているが、県内で2地域が認定されている都道府県は、和歌山県と静岡県のみであり、今後どのような展開可能性を有しているのか、行政等の地域等を交えながら議論する。

2026

2.19 木

13:30 ~ 17:00 (予定)  
※開場 13:00

参加無料・要事前申込

開  
催  
方  
法

和歌山大学 (和歌山市栄谷 930)  
西4号館 T-101 と オンライン  
のハイブリッド開催

対  
象

一般市民、大学関係者

定  
員

対 面 100 名 (先着順)  
オンライン 100 名 (先着順)



【参加申込】

QRコードまたはURLから、  
2月18日(水)までにお申込  
下さい。

<https://forms.office.com/r/upQiwJ7YJc?origin=IprLink>

問合せ

和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷 930

☎ 073-457-7127 ✉ [region@ml.wakayama-u.ac.jp](mailto:region@ml.wakayama-u.ac.jp)

主催

国立大学法人 和歌山大学

共催

国立大学法人 静岡大学

# プログラム

13:30～13:40 ● 開会挨拶 国立大学法人 和歌山大学長 本山 貢

● ご挨拶 国立大学法人 静岡大学長 日詰 一幸

13:40～14:30 ● 基調講演 「和歌山県における世界農業遺産（仮）」  
和歌山県農林水産部里地里山振興室 岡田 武彦

休憩

14:45～16:45 ● 研究報告 (各 40 分)

報告 1 「空撮点群情報のオブジェクト指向型樹冠分類と  
機械学習の併用による混交林における  
ウバメガシ個体群の抽出  
～世界農業遺産みなべ町を事例として～」

和歌山大学システム工学部・准教授 原 祐二

報告 2 「イノベーションで拓く茶業の次の一手：  
ネイチャーポジティブと地域価値の再設計」

静岡大学農学部・准教授 一家 崇志

報告 3 「21世紀型ヘリテージとしての豊石式わさび田」

一般社団法人 美しい伊豆創造センター  
ジオパーク推進部部长 辻 修次

16:45～16:55 ● 質疑応答

16:55～17:00 ● 閉会挨拶 国立大学法人 和歌山大学副理事 中村 憲司